

ゆいのき

「みんなが楽しく 城山中央小学校」

第4号
令和2年11月
室田和宏

雨ニモマケズ、暑サニモマケズ コロナニモマケズ！



2か月にも及ぶ臨時休業明け、夏休みが短くなって、勉強時間が増えても、最後まで頑張り続けた子どもたちに何かできることは・・・

1学期の終業式だった10月9日、PTA執行部のみなさんが中心になってサプライズのプレゼントを準備してくださいました。中に入っている賞状には「雨ニモマケズ、暑サニモマケズ、コロナニモマケズ・・・」と、『本当によく頑張った！』という気持ちは、まさにPTA全員の共通の気持ちなのではないでしょうか。PTAの皆様の“まごころ”に心より感謝申し上げます。子どもたちの頑張りには答えるために、私も負けずにサプライズ。前日に無理やり頼み込み、急きょ刀川恵子前校長先生に来校していただきました。「城央小の皆さんのよいところは、明るくて

元気なところ、そして素直で優しいところ。そんな皆さんが大好きでした。そしてこれからもずっと大好きです。」と言葉をかけてくださいました。3月の臨時休業以来、満足なお別れもできず、本校のことをどれだけ気にかけていたことでしょうか。恒例のTV放送だったために、プレゼントも刀川先生もアップで映すことができました。コロナ禍、生活様式が変わったことで、思わぬ産物もあるものです。



1学期の振り返り発表



1学期の振り返り発表



刀川前校長先生



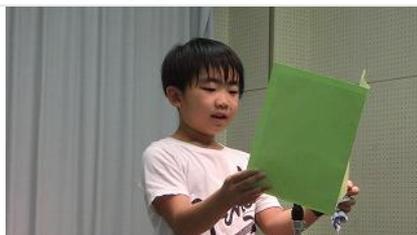
宮っ子心の表彰



宮っ子心の表彰



宇河地区児童作品展



2学期の目標発表



2学期の目標発表



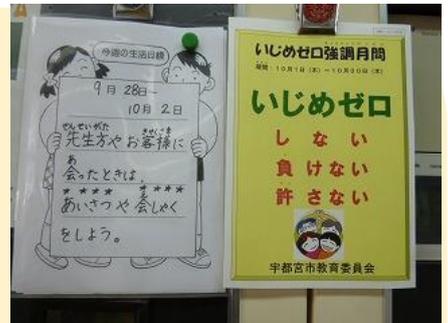
TV放送舞台裏

そして、10月13日には2学期がスタートしました。「必要は発明の母」という言葉を引用し、次のように話しました。『2学期は皆さんに発明家になってほしいと思っています。コロナ禍で、できなくなってしまったこともたくさんありますが、新しく生まれたものもたくさんあります。「できない！こまった！どうしよう！」という時こそチャンスです。本気で考えた時に発明は生まれるものです。』

いじめゼロ強調月間 & 地域ぐるみのあいさつ運動

10月はいじめゼロ強調月間でした。「いじめに発展しそうな事案を見逃さないよう敏感にアンテナをはり、事案の早期発見と、組織で対応に努める」ことに普段から取り組んでいます。強調月間の取組を契機に、人権意識の啓発に努めました。児童会からは次のような宣言がありました。

『いじめをしないということだけでなく、いじめられている人の気持ちを考えることのできる1か月にしましょう。・・・いじめられている人がいたら「だいじょうぶ？」などの声をかけられると良いですね。・・・絶対に一



人で悩まないでください。城央小みんなで協力して、「いじめゼロの学校」となるように、いじめゼロ宣言を心にとめて生活しましょう。合言葉は「たすけあおう、ゆうきをだそう、そうだんしよう」です。』

10月19日からの1週間は「魅力ある学校づくり地域協議会」主催によるあいさつ運動にご協力いただきありがとうございました。いじめゼロの取組には地域や保護者の皆様と力を合わせていくことが不可欠です。今後も子どもたちの見守りにご協力をお願い致します。いじめゼロ標語コンクールの6年代表作品を紹介します。

<無視やかげろ いじめのウィルス 広げるな> <見てるだけ そんなあなたも いじめっ子>

まごころつなぐ修学旅行 in ふくしま

10月21日(水)から22日(木)は6年生の修学旅行でした。コロナ禍、子どもたちにとって一番の心配事が修学旅行だったのではないのでしょうか。夏休み中に急に下見に出かけ、行程の検討、感染症拡大防止のための工夫、総合的な学習のカリキュラム編成、さらにはGOTOトラベルの実施等に伴い、出発直前まで確定できないことも多くありました。「なんとか修学旅行を実現させてあげたい!」そんな担任の熱意が伝わったのでしょうか。6年生の取組は城央小の最上級生としての誇りに満ち、小学校生活のまとめとしての、まさに「修学旅行」を見事に創り上げてくれました。

バスの運転手さんやガイドさん、旅行会社の添乗員さんやカメラマンさん、お世話になった皆さんも、友達同士や担任の先生とお互いに信頼し合い、存分に修学旅行を味わっている子どもたちの姿に、「本当に来られて良かったですね」と。

私たち、同行した大人たちの絆までぐっと強くしてしまうような、そんな力を子どもたちは持っているんだと再認識させられました。“ありがとうの連鎖”が素敵な修学旅行でした。



日頃から災害への備えを

本市では「避難者支援マニュアル」の改訂作業に着手しており、城山地区でも9月に、学校及び防災会の方々が、地区市民センターに一堂に会し「避難者初期支援に係る打合せ」を行い、避難所の開設の課題や運営方法について話し合いました。非常時に備えての準備を日頃から考えておくことが重要になります。

城央小は土砂災害警戒区域が隣接するため一次避難場所には指定されていません。万が一の洪水等の際には、近隣の城山中や、城山東小、明保小、城山地区市民センターが一次避難場所となります。ご注意ください。(地震の場合には、本校に避難所が開設される場合があります。)

※ 行事のようすは、随時本校ホームページに掲載していますので、どうぞご覧ください。



さつま畑の雑草取り



ベランダから授業参観



鉄棒 だるままわり



